

科目名	幼児理解と教育相談		
担当教員	若月 芳浩		
授業コード	767-1	単位数	2
授業の概要	<p>昨今幼稚園・小学校などにおけるかかわりの難しい子どもや保護者の対応の困難性が取り沙汰されることが増加している。そのような社会的状況を踏まえ、本講義では幼児教育に焦点を当て、幼児の理解の方法と実践における活用、保護者の思いを受け止めることの重要性などについて、事例を通して受講生相互に学び、教育相談のあり方を検討することを中心に進めていくものとする。担当者の実務経験を活かした授業を行う。</p>		
スクーリングレポート課題	<p>超高齢社会、少子化、核家族化などこの10年の間に家族における危機が高まっている。このような状況の中で、子どもの育ちにも多大なる影響を与えている可能性がある。ご授業を受けるにあたり、以下の点について整理して考察すること。</p> <p>①子育てを巡る社会的課題について明確にする ②課題を解決するための手立てについて考察する</p>		
提出要領	様式（縦書きor横書き）	横書き	講義初日に教員の指示により提出。初日に提出できるように準備をお願いします。
	字数	1200字程度	
ワープロ使用可・不可	使用可能 手書きの場合はPDFにすること		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育所などにおける現代的課題の理解とその対応。</li> <li>・幼児を理解することの重要性とその手法について事例を通して学ぶ。</li> <li>・保育者として保護者と相談するために必要な姿勢や態度を学ぶ。</li> </ul>		
授業計画			
時数	テーマ	内容	授業を受けるにあたって
1	幼児教育の基本	幼稚園教育要領における保育の基本を理解する	幼稚園教育要領解説概観
2	子どもの危機的状況	子どもを取り巻く危機的状況についての理解(家庭・幼稚園・保育所・小学校・地域社会)	子どもにとっての不利な状況を考える
3	家庭や地域社会との連携	幼稚園が家庭や地域社会と連携するための工夫	幼稚園ができる地域連携について考える
4	幼児理解の方法	幼児を理解する方法について学ぶ	幼児理解の資料を読む
5	幼児理解演習 ①	幼児を理解するとはどういうことか(記録)	幼児理解の資料を読む
6	障害のある子どもの保育①	特別支援教育の現状と、障害のある子どもの保育の基本を学ぶ	障害とは何か、WHOの概念について理解しておく
7	障害のある子どもの保育②	障害のある子どもを含む、インクルーシブ教育・保育について学ぶ	
8	幼児理解演習 ②	障害のある子どもの保育方法、及び保育の中で子どもをどう理解するか	障害のある子どもについての考えをまとめておく
9	子育て支援	子育て支援とは何か、その現状理解と課題	スクーリングレポート
10	子育て相談演習 ①	事例を通して相談のあり方を学ぶ	相談の基本姿勢を考える
11	幼稚園における子育て支援の方法	日々の出来事の発信と日常的相談の基本	幼稚園でできる子育て支援とは何か考えておく

12	子育て相談演習 ②	事例を通して相談のあり方を学ぶ	相談の基本姿勢を考える
13	子育て相談演習 ③	事例を通して相談のあり方を学ぶ	相談のテクニックを高める
14	理解と相談の関係	幼児を理解することが保護者との相談にどのように役立つのか まとめ	幼稚園の新たな役割を考えておく
15	期末試験		
使用テキスト	『幼児理解と教育相談』(通信教育課程指定テキスト)		
受講者が持参する教材	特になし		
参考文献	『幼稚園教育要領解説』		
成績評価方法	期末試験70%、スクーリングレポート20%、演習における提出物と出席10%		
その他受講者への指示/メッセージ	授業について 保護者への対応は具体的なレベルで実践出来る力が保育の現場では求められています。この科目をしっかり受講し、家族支援や子育て支援に役立つ知識を身に付けて欲しいと考えています。		